

何禮之 のりゆき 洋學者、漢詩人。天保十一年七月十二日肥前國生乳、大正十一年二月二十日歿（二四〇—一九三三）。字治恭、通稱禮之助。號澁裕、瓊江、蠡舟、蠡舟居士等。開成所御用掛、譯官を経り、明治二年大阪洋學校督務、四年文部少教授となり、岩倉具視の遣外使節團には一等書記官として隨行。のち内務大書記官、元老院議員、貴族院議員等歴任。星亨の英學の師。

譯書、ミンチーヌキキ 孟德斯鳩著『萬法精理』全十八冊（明治九年一月自版、島村利

助・山中弁兵衛・丸家善七・穴山篤太郎發兌）が有名。

